



たかの
高野 たけし
無所属 48歳

- 垣子市議会議員（5期）
- ・教育民生常任委員会 委員長
 - ・議会運営委員会 委員
 - ・議会報編集委員会 委員
 - ・基地対策特別委員会 委員

高野たけしの活動報告 ～住みやすいまちづくりに向けて～

令和3年第1回定例会において、桐ヶ谷市長より来年度の当初予算案が示されました。総額は368億6,900万円（一般会計203億9,700万円、特別会計135億4,980万円、公営企業会計29億2,220万円）となっています。

歳入では根幹をなす市税収入が減収見込みとなっていますが、これは人口動態の変化に加え、新型コロナウイルスの感染拡大が起因しているものと推察できます。

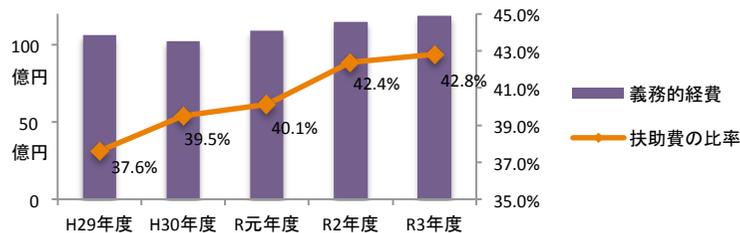
また、歳出では義務的経費が拡大しており、特に社会保障に充てる扶助費の伸び率が突出しているのがわかります。本市の扶助費の割合は神奈川県内でも低水準と言われていますが、少子高齢化の進行などが扶助費の増加につながっていると考えられます。

【一般会計に占める市税収入と義務的経費の推移】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
一般会計	19,496,312	18,322,026	18,666,664	19,259,000	20,397,000
市税収入	9,473,244	9,545,758	9,651,133	9,271,211	9,024,632
義務的経費	10,640,773	10,248,595	10,897,362	11,490,501	11,892,596

（単位：千円）

【義務的経費の推移と義務的経費に占める扶助費の割合】



※平成29年度～令和元年度は歳出決算額、令和2年度～3年度は当初予算額

政治資金の残り 87,277円

（令和2年12月～令和3年2月の内訳）

支出…ポスター掲示用両面テープ 2,309円

こうした現状を鑑み、来年度は以下の重点施策に取り組んでいくことになっています。

①企業誘致・起業促進で市税収入の新たな柱を構築

令和元年に立ち上げた「platform ZUSHI BIZ」にて現在進行中のプロジェクト（健康医療・地域エネルギー）の具現化をフォローするとともに、個人が新たな事業を始める際には国の補助制度などをアドバイスし、起業を後押ししていきます。

また、昨年始めたワーケーションを通じて関係法人を創出し、市内への企業誘致も進めていきます。

②保育施設の充実で子育て世代をサポート

市内の各保育園に受け入れ人数の弾力的運用を要請するとともに、保育機能を有する企業誘致にも取り組んでいきます。

また、保育士不足の解消を目的とした補助制度を創設し、民間保育園の保育士の人材確保を支援。

③介護予防対策の拡大で扶助費を圧縮

栄養状態の改善を目的とした生活ケアを行うとともに、ICTを活用して運動機会を創出し、要介護状態への予防をサポートしていきます。

また、高齢者などの移動手段を確保するため、既存の公共交通を補完する新たな公共交通の導入に向けた実証実験を開始。

④空き家の有効活用で人口流入を促進

株式会社パブリックサービスと連携した「空き家活用支援助成制度」を通じて貸し手と借手手をマッチング。

さらに市民向けのセミナーを開催し、空き家とならないための予防策にも務めていきます。

～ Topics ～

渋滞緩和と安全対策

JR逗子駅前の渋滞緩和と歩行者の安全確保を目的に基礎調査を実施します。近隣商業ビルの建替も予定されているため、調査結果によっては同時に整備を行う可能性も示されたことから、狭隘な歩道が問題になっている「なぎさ通り」の電線類地中化も合わせて検討するよう市長に求めたところ



デジタル推進課を新設

デジタル庁の創設を見据え、逗子市役所内にもデジタル推進課を新設し、DX(デジタルトランスフォーメーション)を推進。データとデジタル技術を活用し、業務の効率化、住民ニーズへのきめ細やかな対応を図っていきます。

システムの標準化により、行政手続きの簡略化も期待されます。



がけ崩れ防止策を推進

近年市内で頻発しているがけ崩れ防止策として、危険箇所の洗い出しと対策工事の実施、民有地の工事助成制度の拡充を行ってきました。

また、倒木被害等を防ぐため、来年度も約4千万円の予算を計上し斜面緑地の管理伐採を行います。継続的な安全確保の観点から管理計画を策定するよう求めました。



ボックスランチから食缶へ

中学校給食を現在のボックスランチ方式から食缶方式に移行するため、来年度より準備に入ります。令和4年度中の配膳方式への変更を予定。

ボックスランチ方式では難しかった温かい給食の提供が可能になることで、食育の面で課題となっていた残食率の低下にもつながると思っております。



どーなってるの？

連日、新型コロナウイルスワクチンに関連するニュースが報道されていることもあり、本市の現状に関するご質問が多く届いておりますので、担当所管にヒアリングした皆様が気になっている点を一問一答でご報告いたします。

◆ワクチン接種に関する準備状況は？

4月の初旬から接種できるよう、会場及び人員等の準備を進めているが、ワクチンがいつ届くかによって接種時期は変わってくる。国からの話では4月26日から接種可能な日程で各自治体に配布される予定。

◆接種会場はどこに？

市民交流センターを想定しており、ワクチンの入手が進めば第2会場として池子スマイルのスポーツルームを考えている。また、診療所などにもサテライト型接種施設として協力していただく方向で協議中。

◆予約方法は？

電話、インターネット、Lineで予約を行えるようにして分散を図る。また、供給されるワクチン量に応じて接種券の配布時期を年齢毎に区切り、予約が集中しないようにコントロールすることも考えている。

◆1日に対応できる人数は？

接種時間は1人あたり5分、5レーンでの対応を考えているが、会場の開設時間をどの程度確保できるかによって変わってくる。

◆人員の確保は？

すでに確保はできているが、さらに余裕を持って対応ができるように看護師の増員を進めていく。

◆接種会場に行けない人への対応は？

各福祉施設には巡回チームの派遣を検討している。また、自宅で介護を受けていて外出できない希望者には、かかりつけ医と相談し対応を考えていく。

◆希望者へのワクチン接種完了の目処は？

9月末までに完了できると考えているが、ワクチンの供給量によっては変わってくる。また、診療所のサテライト化が進めばさらに早くなる可能性はある。

◆予約がキャンセルされた場合の対応は？

開封済みのワクチンが無駄にならないような方法を現在検討中である。